

2022年3月期第3四半期 決算説明資料

目次

1. 2022年3月期 第3四半期決算 P 2
2. 2022年3月期 通期業績予想 P18
3. 重点施策進捗状況 P22

2022年3月期 第3四半期決算

決算ハイライト

売上高

40,474百万円
(前年同四半期比+ 45.6 %)

売上総利益

7,570百万円
(前年同四半期比+ 65.4 %)

営業利益

3,130百万円
(前年同四半期比+ 163.6 %)

第3四半期サマリー

- 好調な市場環境を背景に増収増益を継続し、経常利益は第3四半期時点で過去最高を達成
- 半導体製造装置業界は、5G関連やデータセンター向けに需要拡大が続いており、設備投資は好調に推移
- 主力のアルミニウムを中心に全品種で好調に推移
- 棚卸資産影響額が第3四半期迄に422百万円(益)発生、前年同四半期比448百万円の増益要因となった
- 2021年12月8日に業績予想および配当予想を上方修正

連結損益計算書（PL）サマリー

半導体製造装置業界を中心に好調を持続し、 前年同四半期比で大幅な増収増益を達成

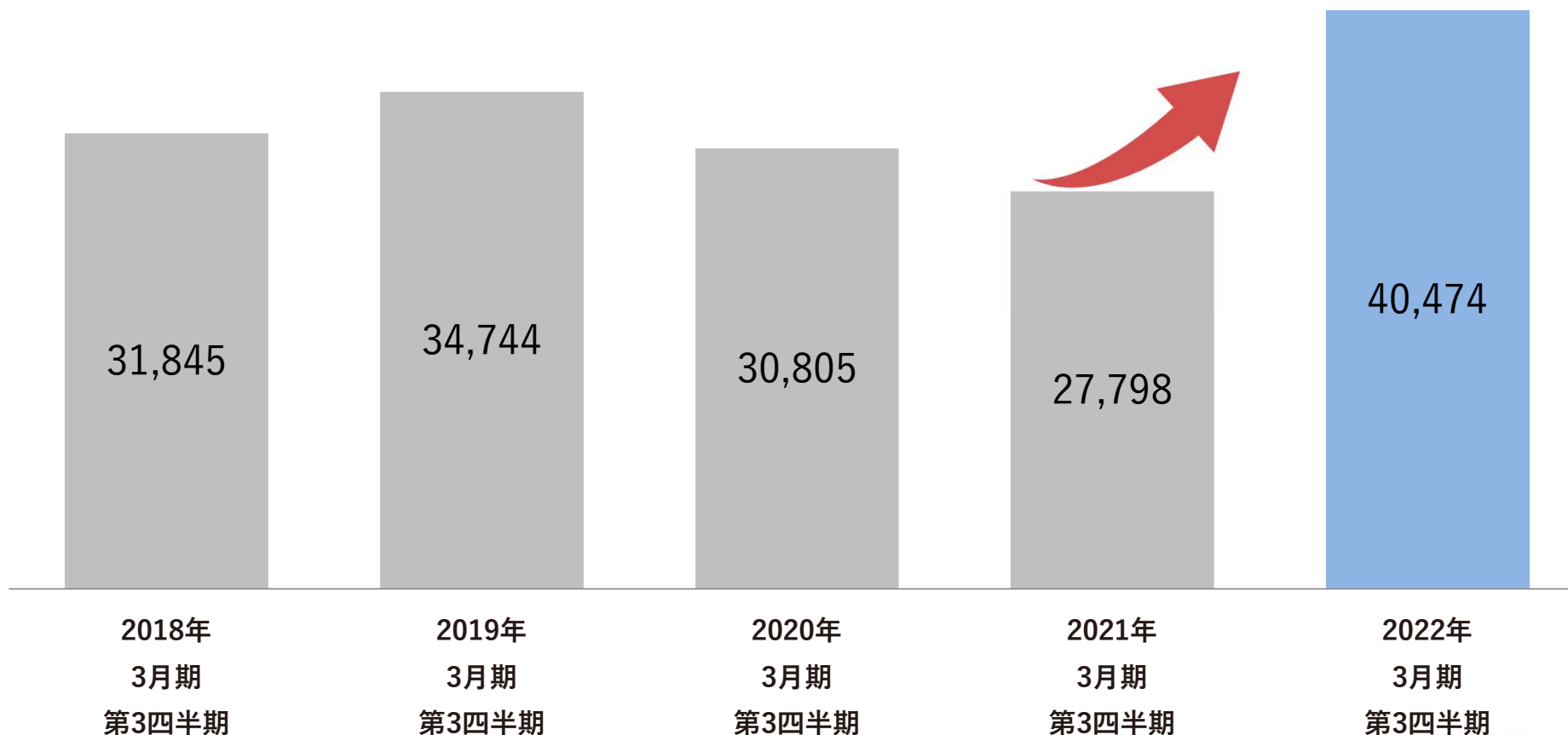
(百万円)	2021/3期 第3四半期	売上高比	2022/3期 第3四半期	売上高比	増減率
売上高	27,798	-	40,474	-	+45.6%
売上総利益	4,577	16.5%	7,570	18.7%	+65.4%
営業利益(棚卸資産影響前)	1,213	4.4%	2,708	6.7%	+123.2%
棚卸資産影響額（△が損）	△26	—	422	—	—
営業利益(棚卸資産影響後)	1,187	4.3%	3,130	7.7%	+163.6%
経常利益	1,251	4.5%	3,216	7.9%	+156.9%
親会社に帰属する 当期純利益	869	3.1%	2,187	5.4%	+151.7%

直近の売上高推移

前年同四半期比 45.6% 増加

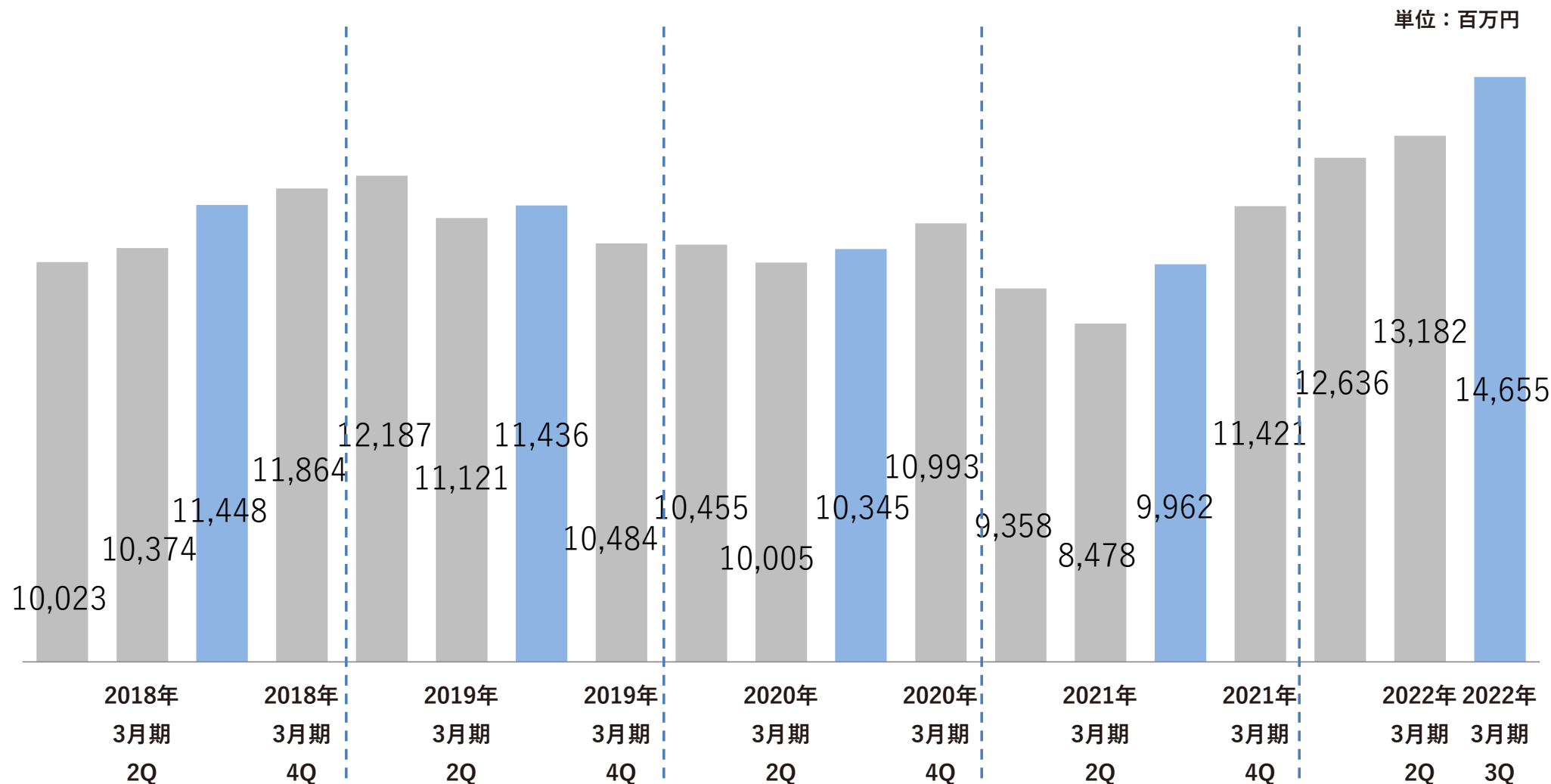
- ◆ 前年同四半期は新型コロナウイルス感染症の影響で低迷を余儀なくされたが、2022年3月期第3四半期は、半導体製造装置業界や工作機械業界の好況等を背景に好調継続

単位：百万円



売上高の四半期毎推移

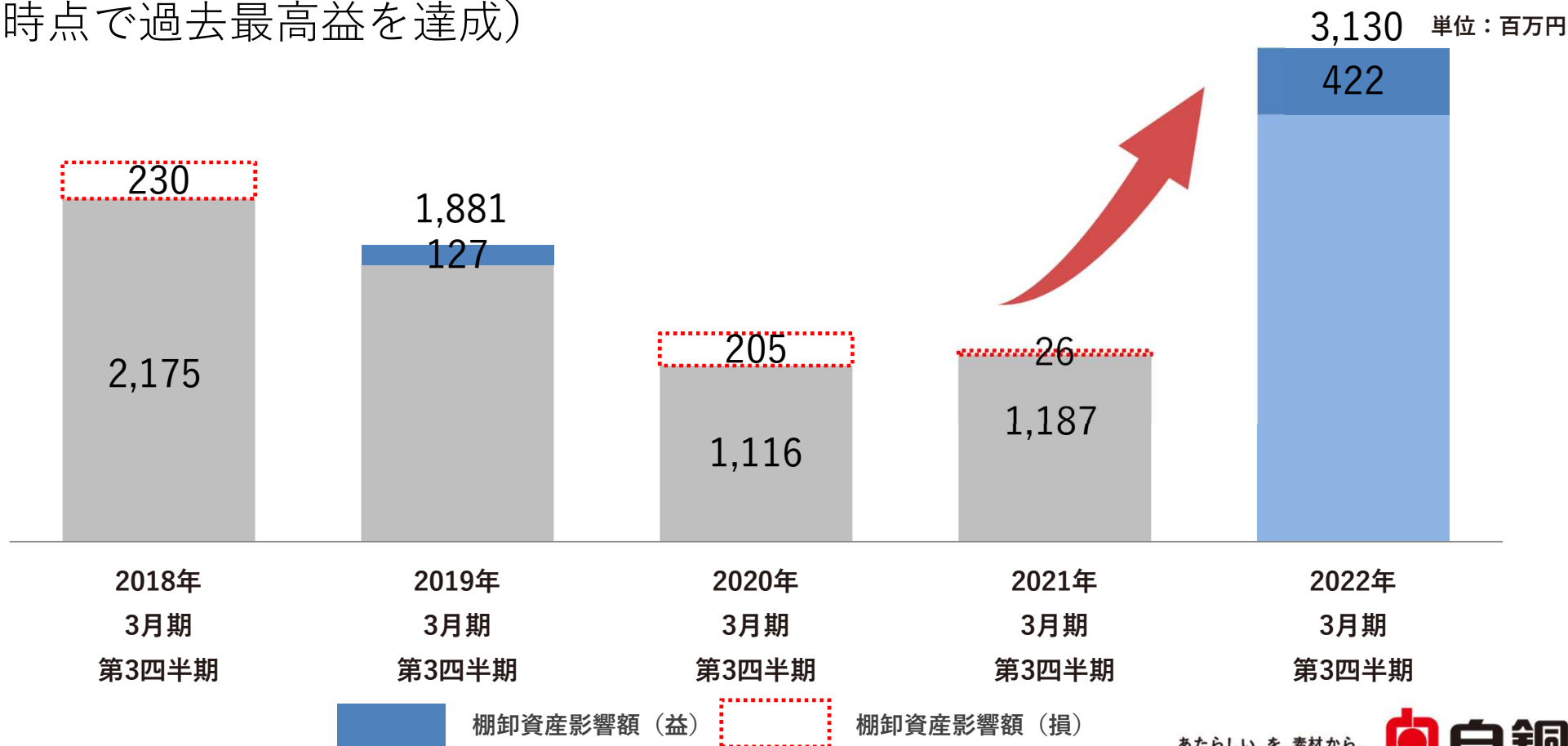
2021年3月期 2Qを底としてコロナウイルス感染症の影響から回復し、今期は過去最高水準の好調な業績を具現中



直近の営業利益推移

前年同四半期比 163.6% 増加

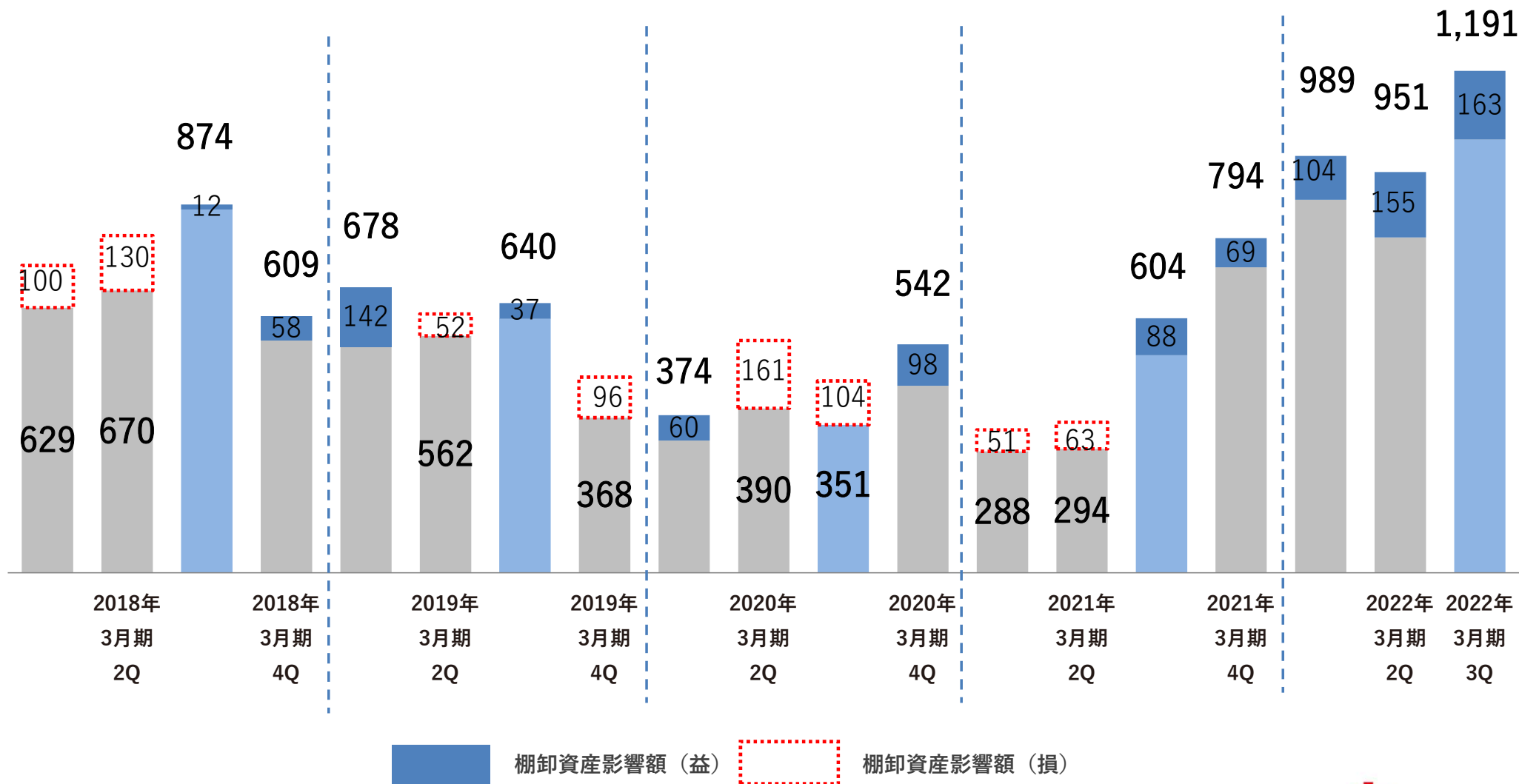
- ◆売上高の増加と売上原価率低減が利益増の主因
- ◆棚卸資産影響額（益）422百万円も増益に寄与
- ◆連結業績予想で過去最高の営業利益を見込む（経常利益は第3四半期時点ですべて過去最高益を達成）



営業利益の四半期毎推移

2021年3月期第3Q以降、営業利益は大幅増加

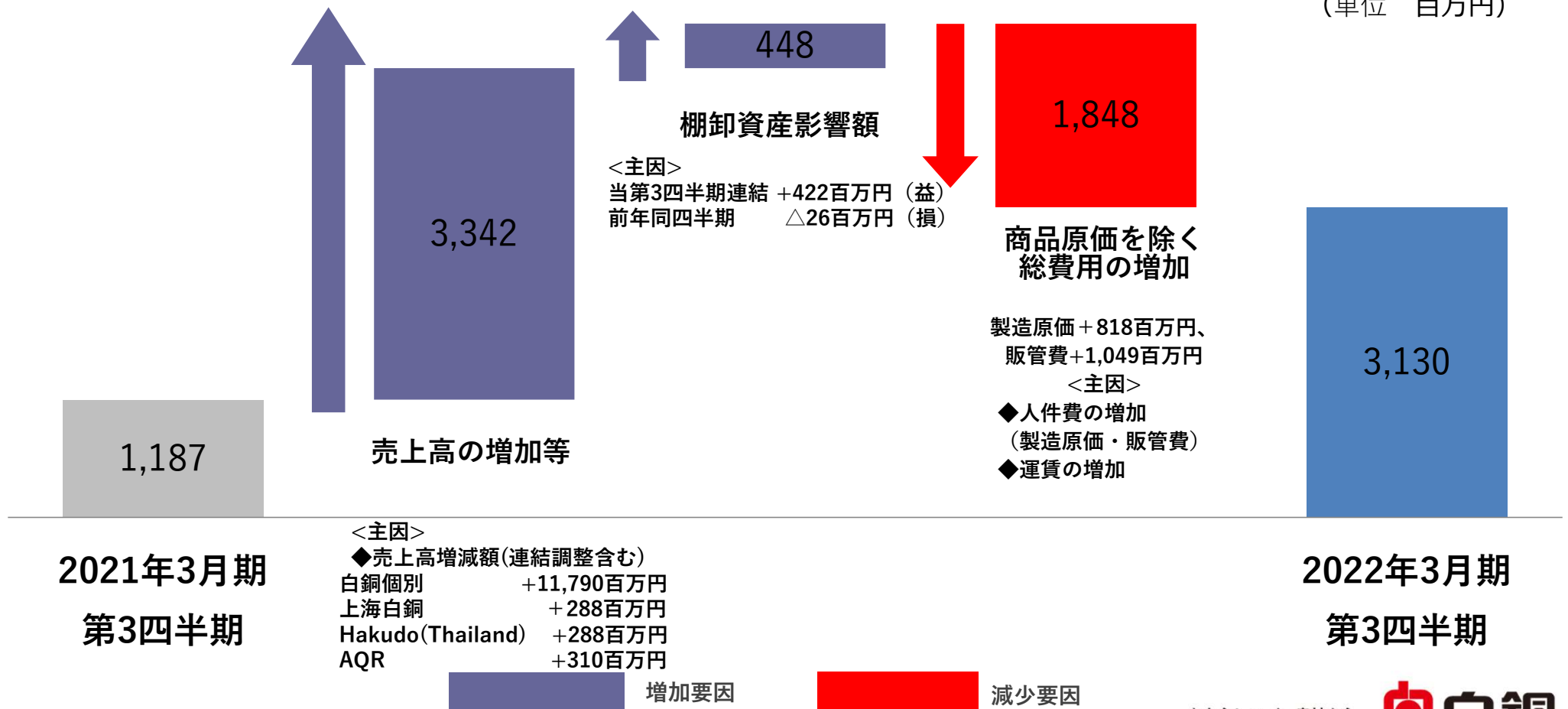
単位：百万円



営業利益の前年同四半期差異要因

売上高の増加と、原材料市況およびメーカー加工賃上昇による棚卸資産影響額により大幅増益

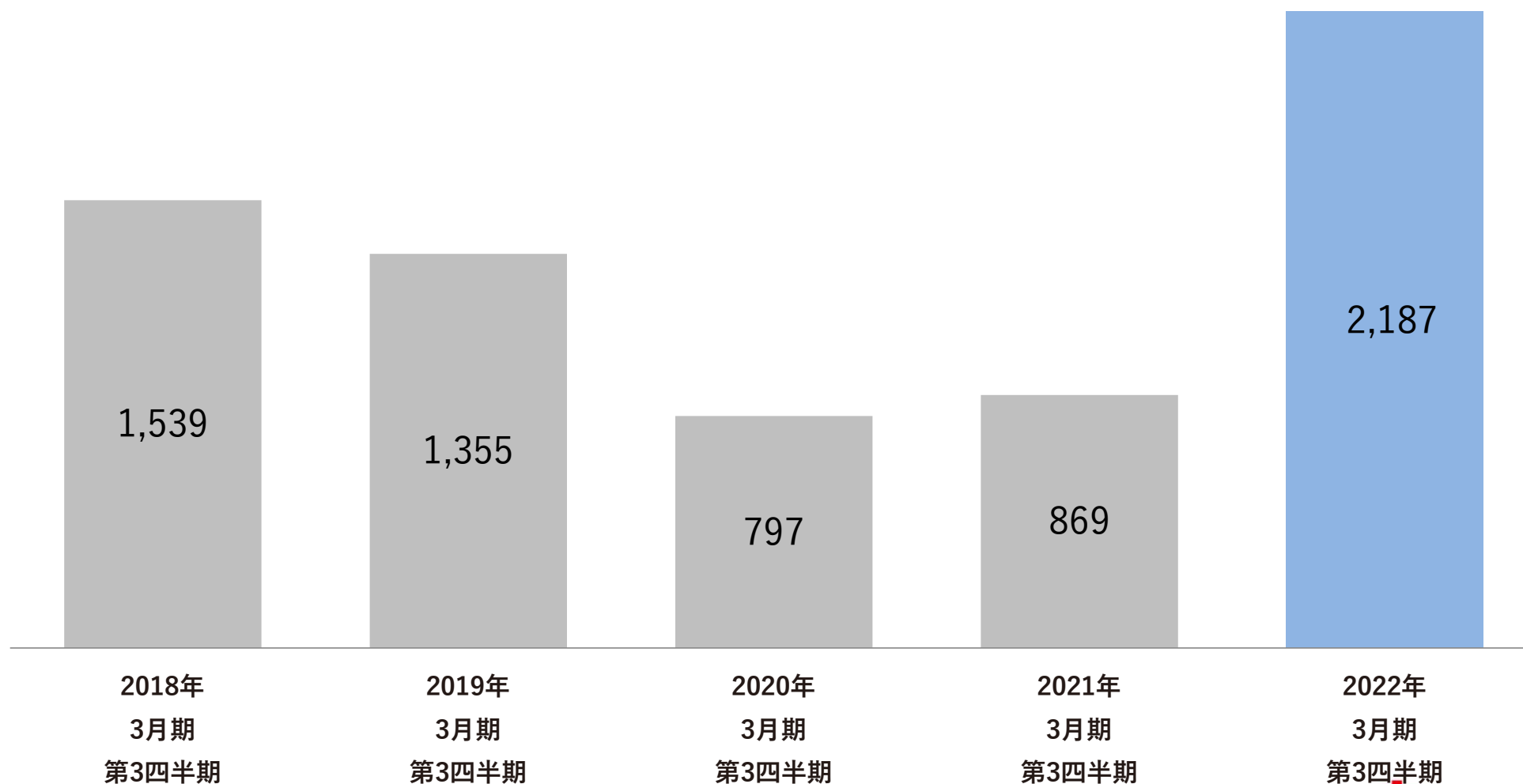
(単位 百万円)



直近の親会社株主に帰属する当期純利益推移

親会社株主に帰属する当期純利益は前年同四半期比 151.7% 増加

単位：百万円



品種別売上高

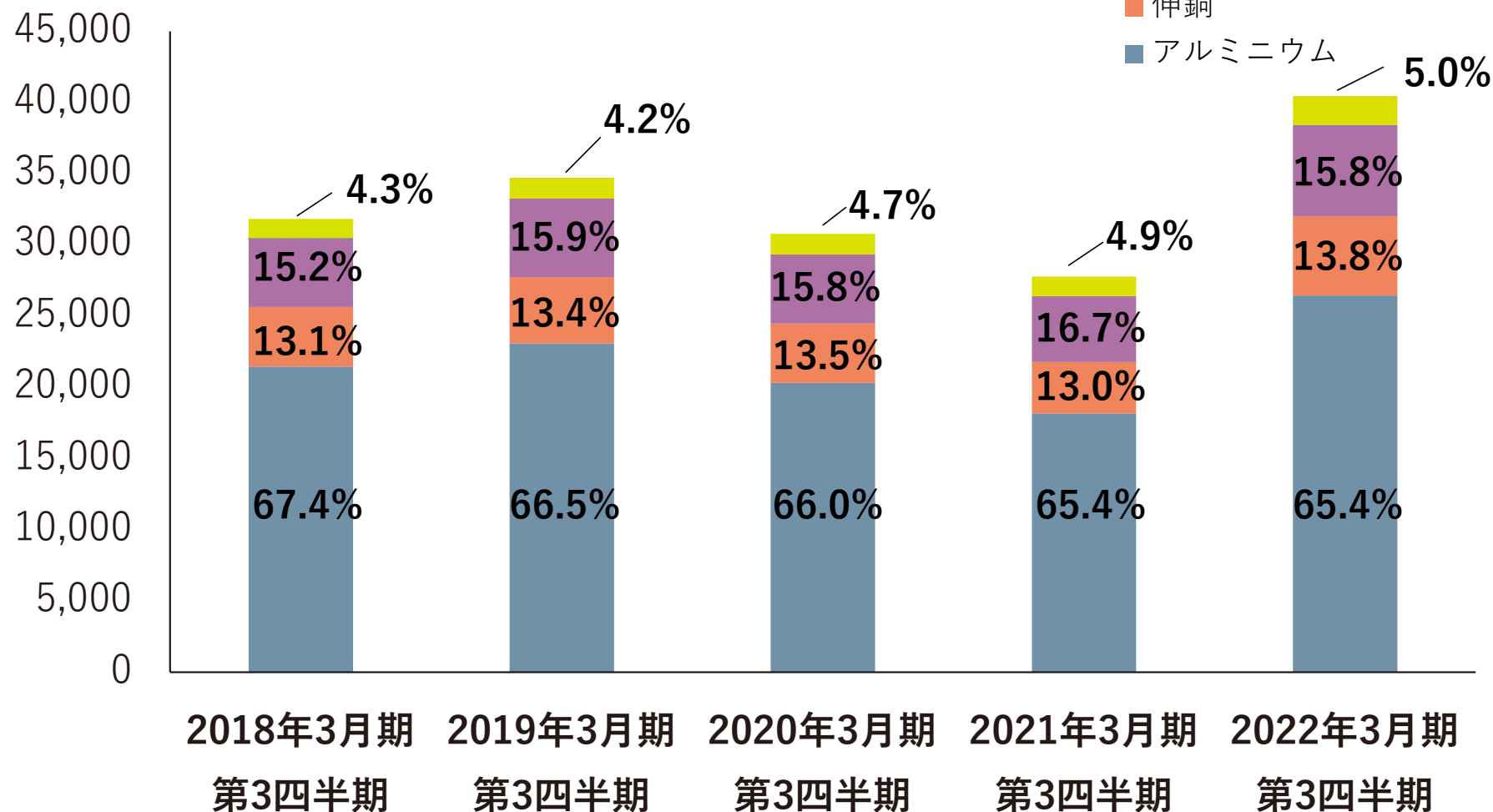
主力のアルミニウムを中心に全ての製品で前年同四半期比増加

(百万円)	2021/3期 3Q	2021/3期 第3四半期累計	2021/3期 4Q	2022/3期 1Q	2022/3期 2Q	2022/3期 3Q	2022/3期 第3四半期累計	前年同四半期 増減率
連結売上高	9,962	27,798	11,421	12,636	13,182	14,655	40,474	+45.6%
アルミニウム	6,550	18,189	7,458	8,242	8,654	9,563	26,459	+45.5%
伸銅	1,328	3,604	1,496	1,780	1,766	2,033	5,580	+54.8%
ステンレス	1,612	4,640	1,874	1,991	2,116	2,301	6,409	+38.1%
その他	472	1,363	593	621	645	756	2,024	+48.5%

品種別売上高の構成比率

前年同四半期と比較し全ての製品の売上高が増加し、伸銅製品の比率が0.8ポイント上昇

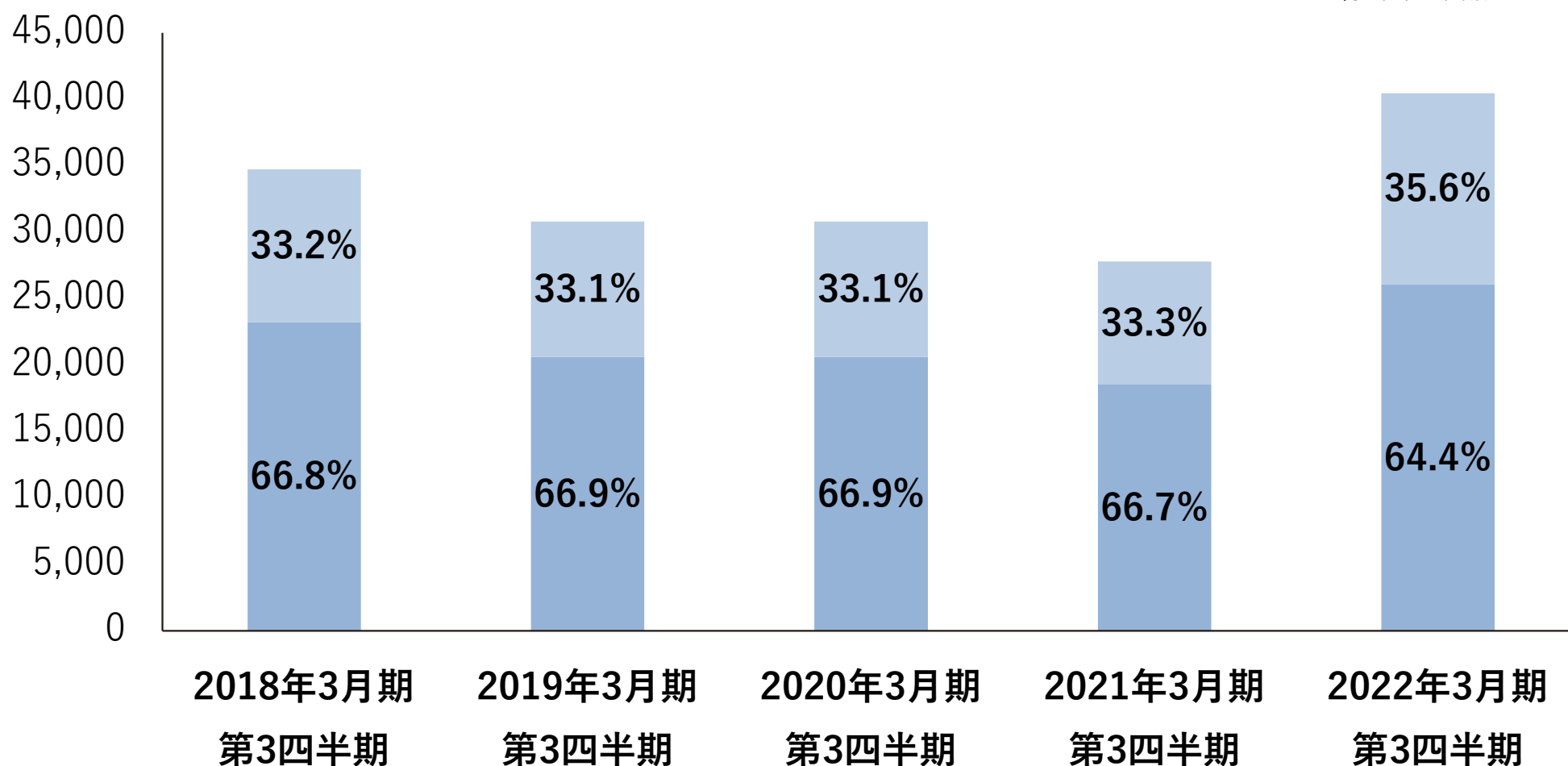
(単位：百万円)



標準在庫品・特注品売上高の構成比率

前年同四半期と比較して、主に半導体製造装置関連向けの需要増により特注品の比率が増加

(単位：百万円)



貸借対照表 (BS)

< 貸借対照表(前連結会計年度末比) >

単位：百万円

資産の部	2021年3月末	2021年12月末	増減	負債及び純資産の部	2021年3月末	2021年12月末	増減
流動資産	24,851	31,612	6,760	流動負債	15,190	20,888	5,698
現金及び預金	5,924	7,726	1,802	支払手形及び買掛金 (含 電子記録債務)	13,133	18,394	5,262
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	12,851	16,864	4,013	未払金・未払費用	956	862	△ 94
棚卸資産	5,961	6,816	855	未払法人税等	469	717	247
その他流動資産	116	206	90	その他流動負債	631	915	284
固定資産	8,264	8,254	△ 11	固定負債	56	48	△ 7
有形固定資産	6,370	6,270	△ 101	負債合計	15,246	20,936	5,691
無形固定資産	402	488	86	純資産	17,870	18,929	1,059
投資その他の資産	1,492	1,496	5	負債及び純資産合計	33,115	39,865	6,750
資産合計	33,115	39,865	6,750				

■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 31,612百万円 (前連結会計年度末比 6,760百万円増加)

- ・ 現預金の増加
- ・ 売上高増加による受取手形及び売掛金の増加

②固定資産 8,254百万円 (前連結会計年度末比 11百万円減少)

- ・ 有形固定資産の減少 101百万円
- ・ 無形固定資産の増加 86百万円
- ・ 投資その他の資産の増加 5百万円

③流動負債 20,888百万円 (前連結会計年度末比 5,698百万円増加)

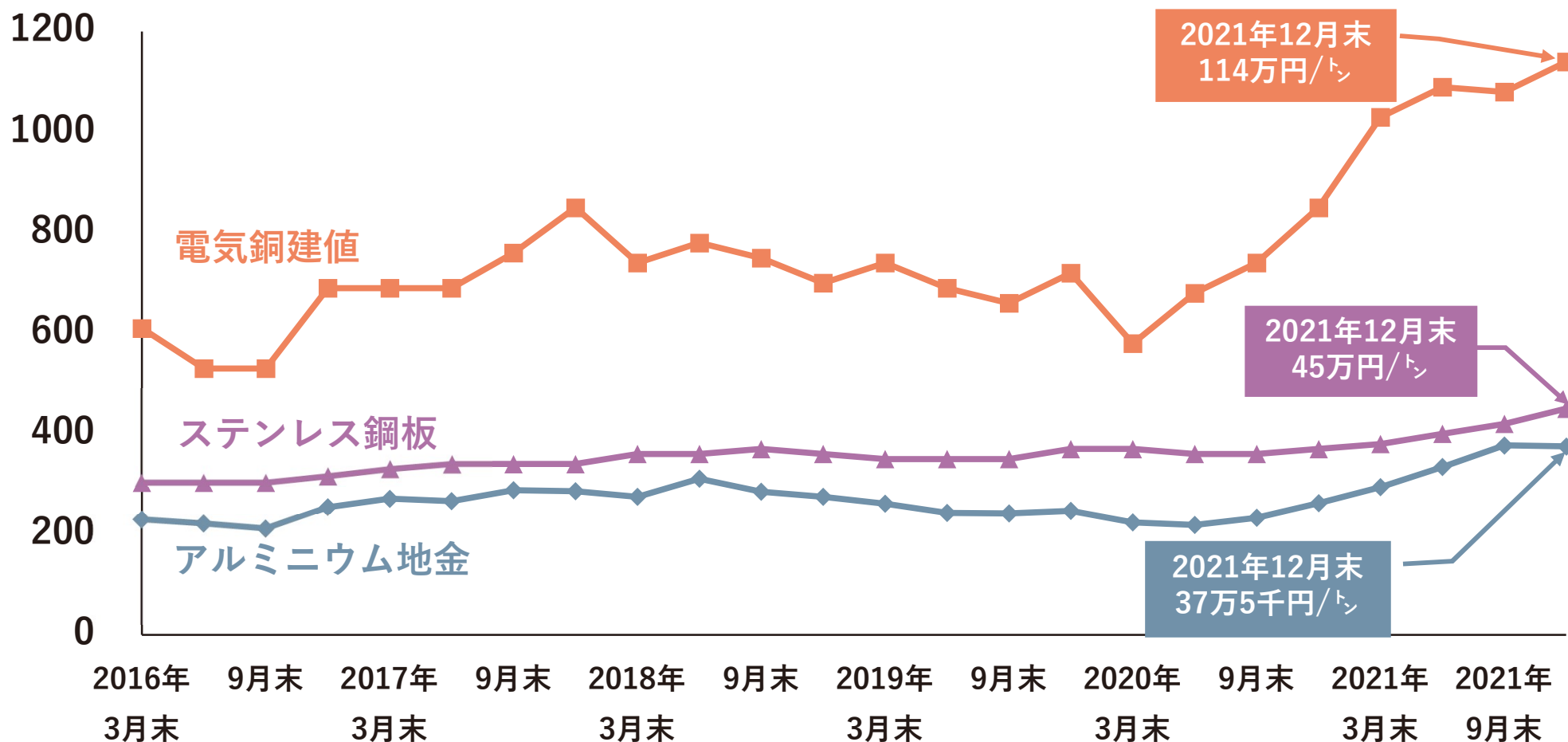
- ・ 支払手形及び買掛金の増加
- ・ 未払法人税等の増加

④純資産 18,929百万円 (前連結会計年度末比 1,059百万円増加)

事業環境（1） アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

アルミニウム・伸銅・ステンレスの地金価格は好況を継続

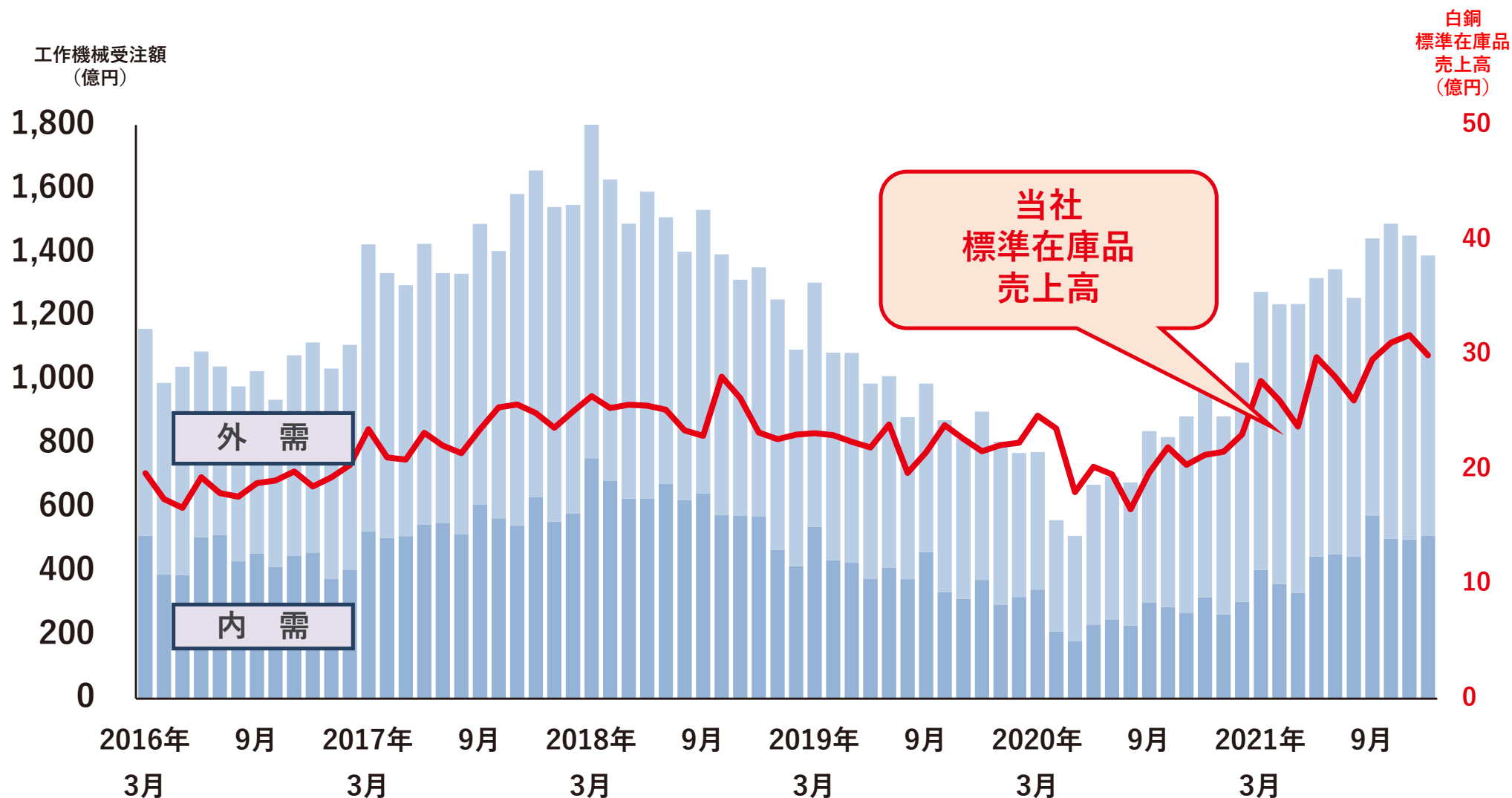
(単位：千円/ト)



ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値
アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

事業環境（2） 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

工作機械受注額は外需・内需ともに回復傾向



出典：日本工作機械販売協会 工作機械受注統計

事業環境（3） 半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

5G関連やデータセンター向けの需要拡大継続が見込まれる

日本製製造装置販売額
(千億円)

白銅
標準在庫品
売上高
(億円)



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

2022年3月期 通期業績予想

2022年3月期 通期連結業績予想

2021年12月8日に業績予想を上方修正

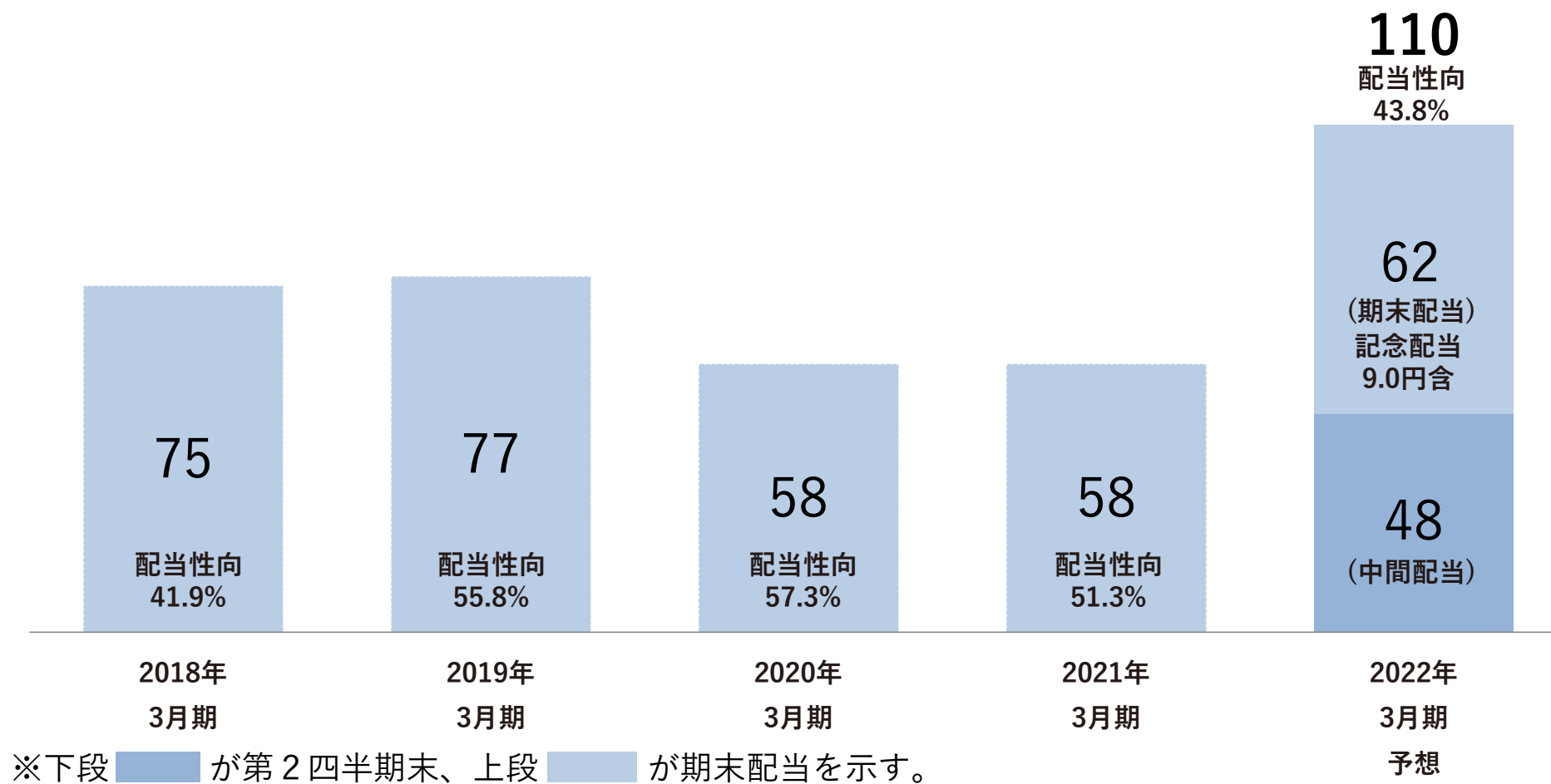
< 要因 >

- ・ 好調な半導体製造装置業界に対する販売予想が想定を上回る見込
- ・ 原材料市況の好況で前回予想を上回る棚卸資産影響額(益)を予想

(百万円)	2021/3期 実績	売上高比	2022/3期 通期予想 (期初発表)	2022/3期 通期予想 (8/10発表)	2022/3期 通期予想	売上高比	対前回予想 増減率	対前期 増減率
売上高	39,219	-	48,000	52,000	54,300	-	+4.4%	+38.5%
営業利益 (棚卸資産影響前)	1,938	4.9%	2,806	3,120	3,398	6.3%	+8.9%	+75.3%
棚卸資産影響額	+43	-	+114	+300	+672	-	-	-
営業利益 (棚卸資産影響後)	1,981	5.1%	2,920	3,420	4,070	7.5%	+19.0%	+105.4%
経常利益	2,083	5.3%	3,000	3,500	4,170	7.7%	+19.1%	+100.1%
親会社に帰属する 当期純利益	1,281	3.3%	2,070	2,400	2,850	5.2%	+18.8%	+122.3%

配当予想～1株当たり配当金の推移～

2021年12月8日の業績上方修正に伴い配当予想も増加



東証新市場区分の選択

東証新市場区分の選択申請

□2022年1月11日に株式会社東京証券取引所より公表された「新市場区分の選択結果の一覧」に記載のとおり、2022年4月4日より「プライム市場」へ移行することとなりました。

重点施策進捗状況

重点施策進捗状況（1）－1

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

(1)-1 ロボットなど、省人・省力化生産設備の積極投入、製造現場のIoT推進による製造現場の革新

【過去の投資実績と今期の予定】

当該第3四半期迄に工場自動化設備や白銅ネットサービス等の投資など661百万円を実施

固定資産取得額(連結)

(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 第3四半期	2022年 3月期 (予定)
有形固定資産	1,227	1,086	593	485	457	531
無形固定資産	83	213	111	105	204	236
取得額合計	1,311	1,300	705	591	661	767

設備投資の効果により、当社工場の生産能力は大きく増強した

【納期繰延発生率（カタログ納期より遅延した件数率）】

2018年3月期と比較し約1/3に減少

【製造関連の返品発生件数率】

2018年3月期と比較し約1/5に減少

重点施策進捗状況（1）－2

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

(1)-2「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上

- ・ 品目サイズを大幅拡充し、27,600品目サイズがご利用可能
- ・ 工具、ネジ等材料以外の取り扱いも増加中
- ・ 引き続き見積りの白銅ネットサービス利用率90%を目指す



当社標準在庫品約5,400点+提携仕入先在庫品約22,200点、合計約27,600点が24時間365日お見積り・ご注文可能



在庫状況、お届け日、注文状況、宅配便利用の場合は送り状番号が確認可能

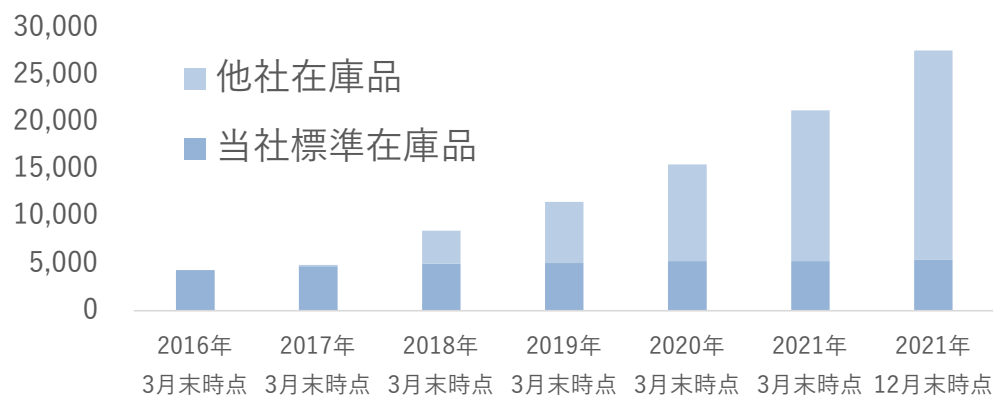


請求書、納品書はもちろん、ミルシート(検査成績表)も発行可能

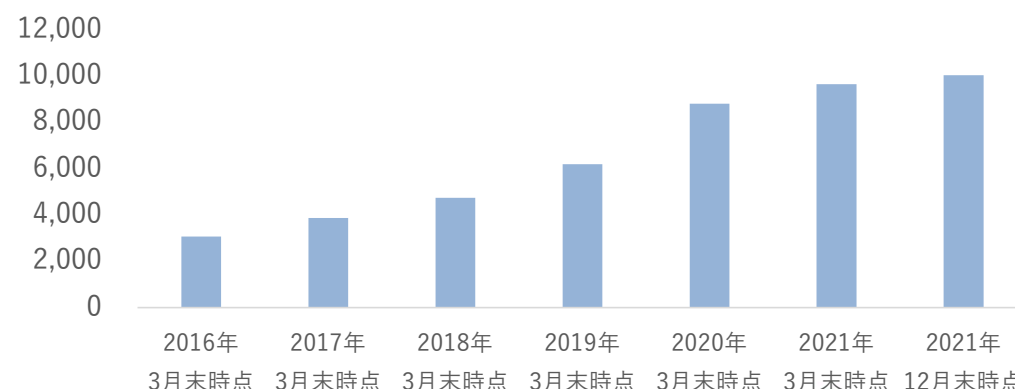


工具、副資材等、材料以外の取り扱いを増加、約8,000アイテムがご利用可能

【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービスご利用登録社数推移（累計）】



重点施策進捗状況（2）

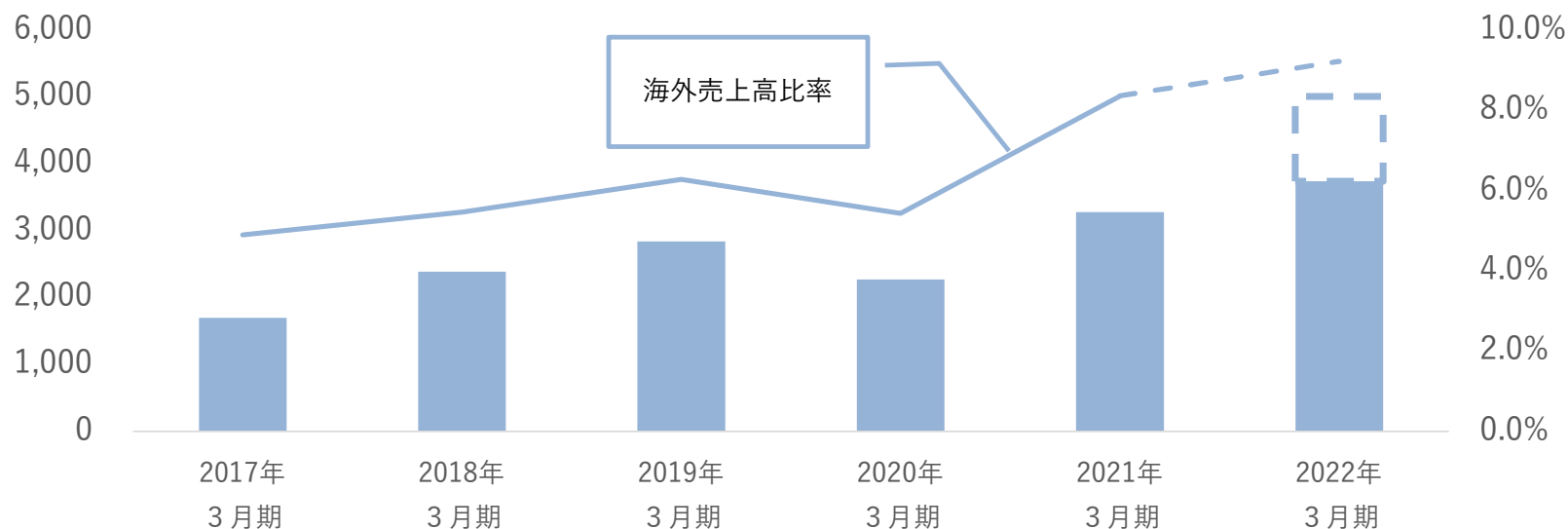
(2) 海外事業の拡大

- ◆ 海外子会社の売上高および利益の増大を目指し、海外売上高比率は増加中
- ◆ 2020年6月に出資を完了したベトナム大手非鉄金属商社であるオリスター社との協業体制の構築中（ECの導入等）
- ◆ 海外での非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレート販売網の確立
- ◆ 海外代理店との連携強化と新規進出国（米国・韓国等）の検討を開始し、一部交渉中
- ◆ 海外でのWeb販売の強化を目指しECパッケージソフトを開発中

白銅グループ全体に占める海外事業の売上高10%以上を目指す

【海外事業の売上高と海外売上高比率の推移】

(単位 百万円)



※日本から海外子会社以外への輸出売上高と海外子会社の売上高の合計金額

※2022年3月期の「」は予想値

重点施策進捗状況（3）

(3) 新規事業の育成

(3)-1 3Dプリンターによる金属製品の受託製造

- ・アルミダイカスト合金「ADC12」の造形サービスの販売強化
- ・3D造形に関するトータルソリューション「3D+ONE」
- ・検査設備増強による検査体制の強化
- ・3Dプリンターの相乗効果を狙った金型・自動車業界への拡販
- ・3Dプリンターをきっかけとしたお取引口座は増加



画像提供：3D Systems Corporation

(3)-2 航空宇宙規格材料のコンビニエンスディーラーを目指す

- ・2台目のウォータージェット加工機を導入予定
- ・商品ラインナップも増加中

業界最大級の
豊富な在庫ラインナップ

航空機の構造材、各種の装備品
や人工衛星部品などに使用される
材料を豊富なサイズラインアップ
で品揃え

規格に合致した品質確保

JIS Q 9100(航空宇宙)を取得
神奈川工場・滋賀工場

海外からの輸入にも対応

海外との幅広いネットワークを使
って、輸入にも迅速に対応いた
します。

重点施策進捗状況（4）

(4) ESG/SDGsの取組み

経営幹部を中心としたESG/SDGs経営委員会を設置

「事業を通じた継続的な社会への貢献」と「中長期的な企業価値の向上」の実現を目指す。

サステナビリティ基本方針を制定（今後開示予定）、方針に基づき活動する。

ESG区分	マテリアリティの例	活動内容	SDGsのゴール
E	脱炭素社会実現への取組み	CO2排出量の調査	    
	スクラップ率低減	端材減少の取組み	
	産業廃棄物削減	リサイクルの推進	
	配送効率の改善	最適な便編成の検討	
	消費電力削減	消費電力削減によるCO2排出削減	
	グリーン調達率	グリーン調達ガイドライン作成および締結	
	ECOシリーズ強化	環境に優しいECOシリーズ商品の販売	
S	従業員満足度向上	従業員満足度調査	  
	多様な人材活用	資格取得支援	
	産学協同	共同研究、モノづくりへの支援	
G	コンプライアンス・リスク管理	コンプライアンステスト実施	
	情報管理・セキュリティ	ISO27001取得に向けた準備	
	JISQ9100の全社取得	JISQ9100の取得に向けた準備	

ご清聴ありがとうございました。

■本資料における注意事項

この資料には、2022年2月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画本部長 關濱 亮
メールアドレス：001002@hakudo.co.jp
ホームページ www.hakudo.co.jp

参考資料 1. 会社概要

社名	白銅株式会社
創業	1932年2月
業種	非鉄金属卸売業
売上高	392億円(2021年3月期・連結ベース)
従業員数	862名(2021年4月現在)
上場市場	東京証券取引所第一部
事業内容	アルミニウム、伸銅、ステンレス、特殊鋼、プラスチック等の板、棒、管の加工・販売
機関設計	監査等委員会設置会社（指名・報酬等諮問委員会設置）
役員構成	社内取締役4名 社外取締役5名
連結子会社	国内 株式会社AQR 海外 上海白銅精密材料有限公司 Hakudo (Thailand) Co., Ltd.
取得認証	JIS Q 9100(神奈川工場・滋賀工場)
ホームページ	www.hakudo.co.jp



参考資料 2. 沿革



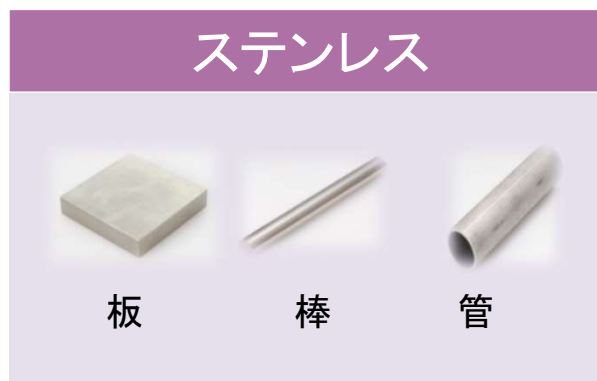
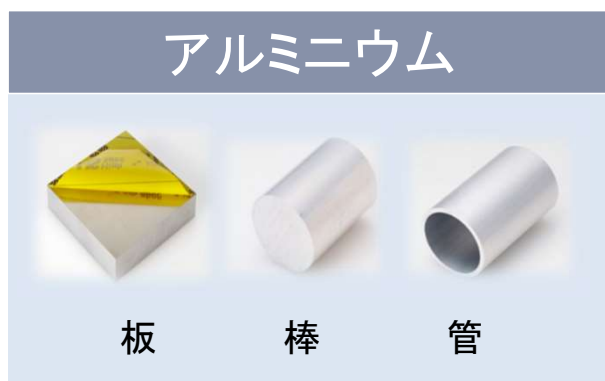
- 2020年6月 ベトナムOristar Corporation へ出資
2020年1月 滋賀工場にて航空・宇宙規格のJIS Q 9100を取得
2019年2月 株式会社AQR(旧高瀬アルミ)を完全子会社化
2017年11月 埼玉県加須市に埼玉工場を開設
2016年1月 神奈川工場にて航空・宇宙規格のJIS Q 9100を取得
2015年1月 金属3Dプリンターの造形サービスを開始
2014年10月 Hakudo(Thailand)Co.,Ltdをバンコクに設立
2008年5月 佐賀県鳥栖市に九州工場を開設
2006年2月 福島県郡山市に福島工場を開設
2005年9月 東京証券取引所第一部に上場
2003年5月 中国上海市に上海白銅精密材料有限公司を設立
2000年3月 JASDAQに店頭公開
1990年3月 滋賀県蒲生郡に滋賀工場を開設
1978年9月 材料の切断加工と小口配送を開始
1974年10月 神奈川県厚木市に神奈川工場を開設
1967年5月 白銅株式会社に商号変更
1949年11月 株式会社白銅商店設立
1932年2月 白銅商店を個人創業



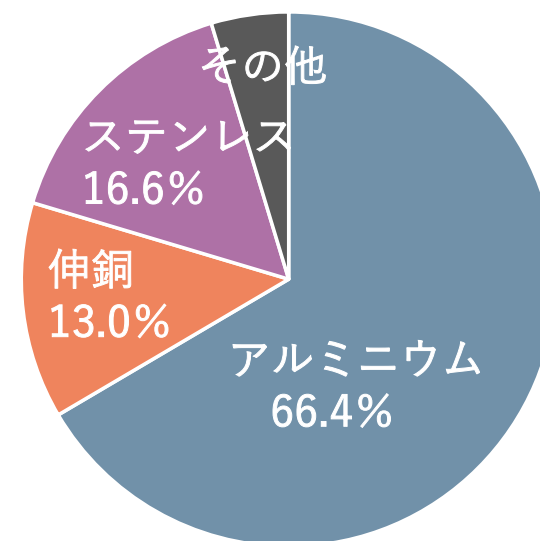
創業時の本社

参考資料 3. 事業内容（当社取り扱い製品）

当社が取り扱う商品はアルミニウムや伸銅、ステンレス等の非鉄金属素材
重量や熱伝導性など、素材ごとに様々な特色があり、用途は多岐にわたる



【品種別売上高構成比】
(2021年3月期)



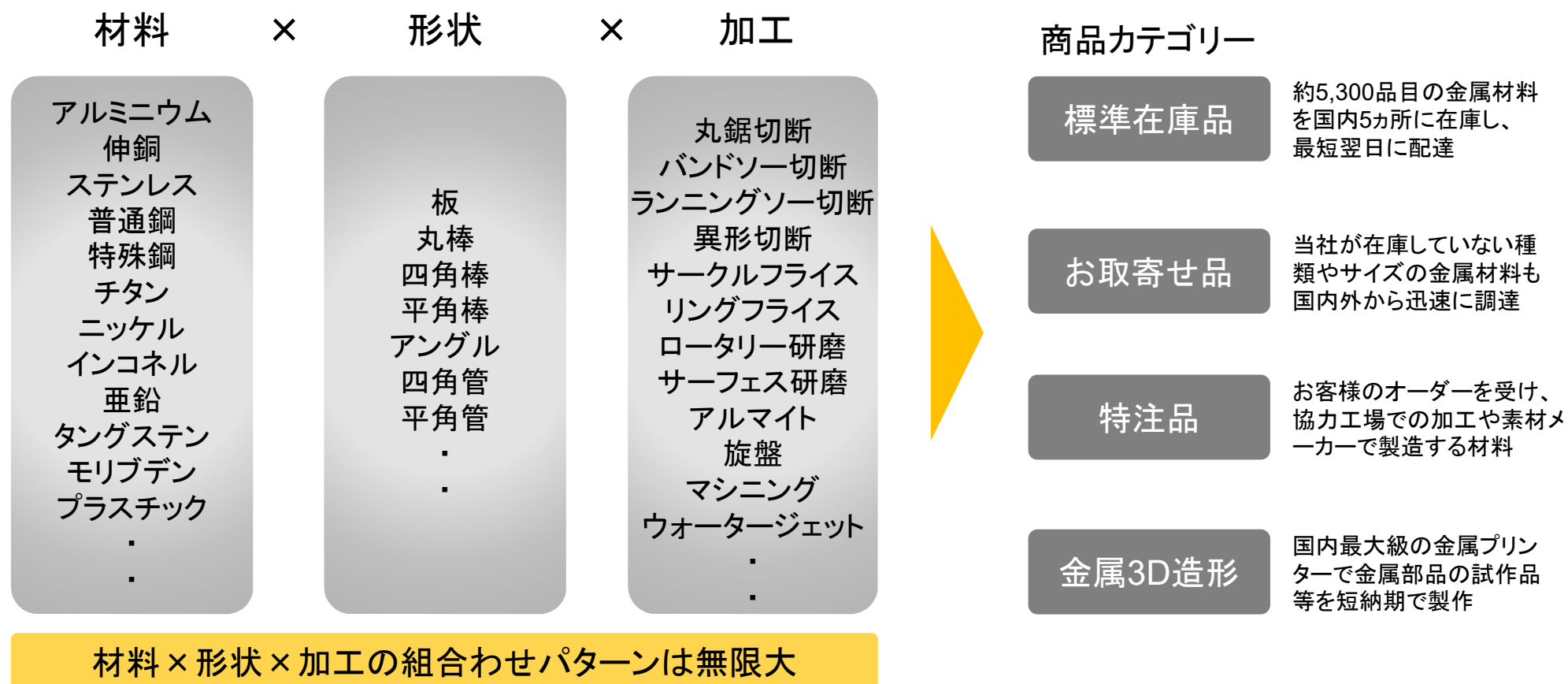
参考資料4. 事業内容（当社製品の用途/顧客業界）

半導体業界や自動車業界を中心に、民生の家電や航空機に至るまで、幅広い分野に使用されています。

品種	業界	使用用途例
アルミニウム	半導体製造装置	製造装置のチャンバー材
	FPD（液晶）製造装置	製造装置のチャンバー材
	空圧	エアシリンダー・マニホールド
	家電	部品等成型用の金型
	造船	LNG船
	航空機	航空機構造材・装備品
伸銅	FPD製造装置	ターゲット材
	自動車	部品
	半導体	リードフレーム
ステンレス	半導体製造装置	製造装置のチャンバー材
	FPD製造装置	製造装置のチャンバー材
	食品	製造装置の部品

参考資料5. 事業内容（白銅の特徴）

従来の商社機能に切断・加工・配送サービスを組み合わせた白銅は、あらゆる種類の金属材料をご希望のサイズ・形状に加工し最短翌日にお届けします。



参考資料 6. 白銅の強み（標準在庫品販売）

白銅の標準在庫品販売は6つの利便性でお客様の手間と時間を節約します。

1. 豊富なラインアップ



アルミニウム、伸銅、ステンレス、特殊鋼を中心に、幅広い産業用素材を加工してお届けします。

2. 小口対応



1枚・1本・1グラムから、お客様のご要望に合わせてジャストサイズで加工し、全国にお届けします。

3. クイック・レスポンス



お客様センターが、FAX、電話、Eメール、ネットでのお見積りやご注文、お問い合わせに、迅速に対応します。

4. クイック・デリバリー



国内5ヶ所に在庫・加工センターを持ち、最短で翌日納品を実現しています。

5. 多彩な加工バリエーション



当社が在庫する全ての商品について、指定寸法での切断に加え、フライス、研磨などの加工にも対応します。

6. 高精度な加工



フライス加工や研磨加工では、板厚・巾・長さに加え、直角度、平行度や平面度まで精度保証します。

- お客様口座数 ⇒約13,000口座
- お見積り件数 ⇒約20,000件/日
- 標準在庫品の60分以内の回答率⇒90%以上
- ご注文件数 ⇒約10,000件/日

参考資料 7. 白銅の強み（特注品販売）

**圧延、押出メーカー、部品加工メーカーとタイアップして、
お客様のご要望に合わせて製作したオーダーメイドの材料や加工部品をお届けします。**

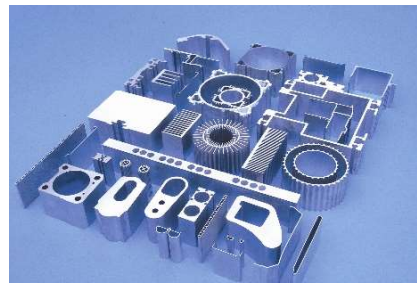
- 圧延品 …… 半導体、FPD製造装置向けスケッチ材・チャンバー材
- 押出型材 …… 空圧部品、シリンダーボディ部品、マニホールドボディ部品
- 機械加工品 …… 図面による注文で金属部品・製品、治工具等を製作
- 輸入金型および金型部品 …… プラスチック金型用、ダイカスト金型用

寸法指定でオーダーメイド



様々な材質の板を指定寸法で製作可能。

複雑形状でも高い寸法精度



製品に近い形状で押し出すことにより、材料の重量を軽減することができ、さらに加工工数の削減と合わせて、コストダウンに大きく貢献します

国内海外のネットワークを駆使



国内・海外のお客様と連携して形成した加工ネットワークを駆使して、最適な企業を白銅が選定し、機械加工品の提供をいたします

低コスト・高品質を実現



白銅グループが厳選した中国のモールドベースメーカーで製作した製品を徹底した品質管理の下に提供します